

第一号議案

2021年度事業実績

(特) 岡山県国際団体協議会 (COINN)

“COINN30周年記念イベント(2022年度)”へ向けて 2021年度も頑張りましょう

(COINN 設立趣旨抜粋)

- (1) 一地方といえども私たちは世界的な視野で世界的問題に対して立ち向かわなければ、将来の世代は存在しない。
- (2) 地域で開発したフィールドワークの経験(国際救援、技術支援、自立支援、人材の育成等)を、広く社会に周知し共有する。
- (3) 私達は相互に連携して強力な組織を構築し、お互いの団体の足腰を強化して協働する。
- (4) 当協議会は岡山県における国際活動NGOの連携ネットワークのハブ(仲介者)となる。
- (5) 互いの個性や違いを尊重しながら、繋がり、助け合う地球市民社会をさらに成熟させる。
- (6) 各NGO団体の組織基盤の強化を図る。
- (7) 世界の人々と「顔の見える関係」を構築し協力し合う真の地球市民社会を構築する。

(定款抜粋)

1. 当会の目的(定款第3条)

本法人は、国際NGO及びNPO間の連携を深め、関係機関及び県民との協力のもとに、国際理解・国際交流・国際体験・国際協力・国際支援・国際貢献活動等(以下「国際活動」という。)の推進を図り、もって国際社会に貢献することを目的とする。

2. 活動の種類(定款第4条)

国際協力の活動及び当会の目的の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動を行う。

3. 事業計画内容(定款第5条)

【事業実施の総括】

全体的にほとんどの事業が「コロナ感染状況継続」による影響を受け中止または延期、オンライン会議となった。このため、相互に直接、面会することが無く、業務もオンライン・テレワークの状態が継続した。特に、海外への訪問、招聘はかなわず今後の国際協力に課題を残すこととなった。

しかし、このような状況でも、2021年度内に於いての事業として、公益財団法人 橋本財団から「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業費300万円の助成金が獲得でき、関係国の担当者や国内・県内とのオンライン会議により事業を遂行することができた。さらに同事業の継続として2022年度向けとして、再度、橋本財団から同事業が選ばれ300万円の助成金が年度内(2022年3月中)に確定し、2022年度も300万円合計2か年(2021年度+2022年度)で合計600万円の助成金を獲得できた。今後のアジア・太平洋の国々の文部省関係者との優秀人材の受入れの「プラットフォームづくり」の基礎になる大きな弾みとなった。

第1項：会員間の連携・協働を促進する事業

1. 主要事業

(1) 2021年度「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」事業の実施

実施期間：2021年4月1日～2022年3月31日

実施内容：別紙-1-1：「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」概要

別紙-1-2-1：【日・英】事業内容説明

別紙-1-2-2：「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」実行委員 &アドバイザー

別紙-1-3-1：2021年度研究報告パワーポイント 基本調査

別紙-1-3-2：アンケート分析

別紙-1-4-1：2021年度助成金_研究完了報告書 20220531

別紙-1-4-2：研究結果の要約 (マガジン)

別紙-1-5-1：岡山県市長会説明スケジュール

別紙-1-5-2：COINN 説明岡山県市長会参加市長

(2) ユネスコ国際機関誘致のための作業状況 (継続)

別紙-2：ユネスコ国際機関 (カテゴリーII) 岡山エリア誘致説明資料

【国内向け】

①ユネスコ国際機関誘致賛同者の全体説明会の実施 (状況説明) ⇒一部実施

これまで、COINNが説明を実施してきた、国会議員、県議会議員、市議会議員、行政関係者 (文部科学省、外務省、岡山県、岡山市、倉敷市)、国際機関 (国連大学、ユネスコ)、学識経験者 (岡山大学、ノートルダム清心女子大学)、岡山商工会議所 (会頭、専務理事)、NPO関係者 (岡山NPOセンター)、YMCAせとうち、地元在留外国人代表等の方々への参加依頼

・説明先-1：岡山県市長会や個別の市長面会で説明

2021年5月15日 (土) 13:00～14:30 面会による説明

説明先-2：「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」実行委員会ですべてにオンライン会議 (橋本財団助成事業実行委員会) で説明

・参加者：各機関 (国際機関、行政機関、企業、NPO)、議員 (国会、県議会、市議会)、在留外国人

・内容：COINN基本構想 (10ヶ年計画)

COINNが国際機関であるユネスコ・カテゴリーIIの承認を得るため

別紙-3：COINN基本構想 (国際活動団体再結集) について (案)

別紙-4：アジア太平洋 CLC ユネスコ未来センターポスター (仮)

②実施方法：⇒一部実施

a) 将来のCOINNの事業計画の発表 (事業内容、事業実施場所、事業組織、資金)

b) 国内関係者への連絡調整 (テレワークによる国内協議)

c) 国外連携機関 (30か所以上) への連絡調整 (オンラインWeb会議による海外協議)

【海外向け】

①ユネスコ・パリ本部 (現地説明)

説明日：2018年12月19日

説明先：ユネスコ・パリ本部

Ms. Susana Sam-Vargas 執行委員会事務局：執行委員会副長官

Deputy Secretary of Executive Board

Secretariat of the Executive Board

(3) COINN のユネスコNGO 認定申請の状況

①申請時期：2018年12月17日

②申請場所：ユネスコ・パリ本部直接担当者に申請

担当者 Ms. Sabina Colombo,

Senior Desk Officer ,Desk for Intergovernmental and
Non-Governmental Organizations

Sector for External Relations and Public Information

③受理状況：2019年1月28日受理通知（別紙-5-1 ユネスコNGO 認定申請受理通知）

以降、コロナ禍で現在まで事務処理停滞

2022年4月27日最近の処理状況を受理

担当者：Mr.Luis-Alberto VARGAS ROJAS

Unit for Civil Society Partnerships,

Bureau of Strategic Planning

（別紙-5-2 ユネスコNGO 認定審査状況）

④COINN ユネスコNGO 認定発表式⇒延期

ユネスコNGO 認定が発表されたら、公式発表（COINN30周年の軌跡）の形で実施を検討していたが発表が遅れているため延期とした。

【事業実施状況説明】

一般的に、ユネスコNGO 認定式やユネスコ国際機関の誘致説明会を実施する予定でしたが、コロナ感染状況の影響により、ユネスコ・パリ本部での審査が進行せず停滞中です。しかし、すでに申請から3年以上が経過しており、最近も、直接、ユネスコの担当課所にメールを送付したところ、審査の最終段階に来ていることが判明しました。

2022年度中にCOINNがユネスコのNGO 認定団体となることと存じます。そのために、関係県内NGO 団体にCOINN 基本構想により連携を進める方針です。

2. 定例事業

①地元商店街行事の再検討会議への参加

毎年7月最後の土曜日に行っていた奉還町ニューウエストウインド（夏祭り）は中止になり今後をどのようにするか検討する。（奉還町の旭軒が担当で考慮中）

地元商店街は、昔から岡山国際交流センターを中心に国際的な街にしたいという希望があった。COINN がユネスコのNGO 認証やアジア太平洋 CLC ユネスコ未来センターを誘致することは、その第一歩となる。

主催：岡山県国際団体協議会、石井学区連合町内会、奉還町商店街振興組合、協同組合西奉還町商店会、石井地区社会福祉協議会、石井学区内各団体、岡山県国際団体協議会

会計：(財)岡山県国際交流協会

【事業実施状況説明】

コロナ禍で延期（但し、小さい出店は多少募集した）但し、時代の経過で夏祭りは中止の方向に行っている。土曜夜市は夏季を中心に行っている。岡山国際交流センターを中心にした夏祭りは過去のものとなりつつある。

②岡山市・ESD推進協議会委員会への参加

岡山県（国際課）、岡山市SDGs・ESD 推進課が行う事業への参加

2021年度会議に委員として事務局長が参加

日時：令和3年5月7日（金）15：00～17：00

場所：岡山市勤労者福祉センター4階大会議室

③国際会議・国際協力：

- a) [第10回アジア青年未来プロジェクト—青年の地域定住促進 (CLC 地域おこし)]
ネパール代表 CLC 地区モデル・スタッフ育成—オンライン Web 会議による地域開発の意見交換と実施—

(内容) テレビ会議システム (ズーム ZOOM ウェブカメラ オンライン・ミーティング)

第一回：ネパール各地 CLC 代表 30 名によるテレビ会議の実施⇒延期

講師：参加型評価センター：代表理事 田中 博 氏

日程：2021 年 12 月中旬

テーマ：“地域開発の悩みは何か？”

別紙—6：「第10回アジア青年未来プロジェクト (オンライン Web 会議)」実施要項

- b) COINN が招聘した南アジア・東南アジア文部科学省政府職員とのオンライン Web 会議 (第一回)

参加国：10 か国 (ネパール、ベトナム、インドネシア、フィリピン、タイ、バングラデシュ、ラオス、カンボジア、マレーシア、日本) の政府関係職員等との共催

テーマ：地域開発と青年—日本の協力体制はどうあるべきか—

日程：2021 年 12 月中旬⇒延期 (具体的には、橋本財団事業「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の中で 2 か国が参加して行っている。)

- c) 新・異文化理解事業フォロー事業⇒延期

別紙—7：新・異文化理解事業フォローアップ事業 (オンライン Web 会議)

(内容) 2019 年度に行った異文化理解事業でインタビュー・実行委員会での話とそこにでてきた考えをもとにして行う。

例：ライングループ、メーリングリストの構築、ワーキンググループの構築

【事業実施状況説明】

コロナ禍で十分でないが準備体制はできている。2021 年度から実施している「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業の中で一部行っている。

第 2 項：各種国際活動の推進を図る事業

① SDGs・ESD 活動団体交流会

岡山市が開催する ESD 市民フォーラム・交流会事業等の事業に参加

② 「SDGs フォーラム in 岡山」等 (会場 岡山大学) に参加⇒広報実施

岡山市・RCE 岡山、ユネスコ・アジア文化センター (日本)、アジア太平洋国際理解教育センター (韓国)、アジア太平洋 ESD 研究所 (中国) 等の共催事業に参加

③ 岡山市のユネスコ/日本 ESD 賞賞金による若者向け助成事業の広報の実施

若者が海外に向けて学習する機会を与える事業⇒広報実施

・グローバルな視野を持って岡山地域の持続可能な社会づくりに向けた取組にチャレンジする若者を対象に、研修経費を助成する事業に参加

④ 岡山市の SDGs フォーラム (12 月 19 日開催 会場：岡山コンベンションセンター) へ

の参加促進⇒広報実施

⑤SDGsネットワーク事業提案（異文化理解事業継続）

2019年度に行った異文化理解事業の参加者（20か国以上）の方々に夫々の各国SDGsの活動を紹介する

「ミニSDGs国際活動 in Okayama, 2021」⇒延期

参加国：ベトナム、ネパール、インドネシア、フィリピン、トルコ、ブラジル、アメリカ、フランス、ニュージーランド、韓国、イタリア、オーストラリア、中国、マレーシア、スウェーデン、スイス、オーストリア、イギリスカナダ、ジャマイカ、コロンビア、バングラデシュ、日本

形式：オンラインWeb会議形式

別紙一8：「ミニSDGs国際活動 in Okayama, 2022への準備」

（2020年度2021年度は、ミニタイプを行い2022年度に海外から招聘して本格的なSDGsオリンピックを行います。）

【事業実施状況説明】

コロナ禍で十分でないが準備体制はできている。2021年度から実施している「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の事業の中で一部行っている。しかし、今後、コロナ禍が解放されると一気に展開する。

第3項：国際活動に関する内外の情報収集と提供事業

①ニュースレターの発行

在留外国人やアルバイト学生を希望団体に派遣します。特に、留学生や技能実習生の在留外国人の実情を掲載する方向で検討している。⇒広報の実施

②岡山発国際貢献推進協議会主催行事への参加

総会・活動事例発表会に参加

2021年度は書面表決実施（2021年7月）に参加

③JICA関西主催

開催イベントの内容を広報します。

④戦争中止キャンペーン

ロシアがウクライラに侵略したことに對して当会の会員である「岡山県ユネスコ連絡協議会」の行動（戦争即時停止キャンペーン）を尊重し行動を共にした。

別紙一9：ユネスコ憲章から戦争の停止を要望(案)

第4項：会員間の情報交換、情報発信等の支援事業（部会長と調整予定）

①COINN加入メリット増強策

COINN会員団体向けの出張ボランティア⇒特に在留外国人を派遣します。⇒延期

②組織変更に関する課題協議（継続）

a) COINNの基本構想に沿った内容を検討します。

・新部会の立上（参加者で部会内容を検討する）

例) 各国文化紹介部会、各国人材紹介部会、民間外国人ハローワーク設立部会、CLC地域開発協働協力部会

・関係国

ベトナム、ネパール、インドネシア、フィリピン、トルコ、ブラジル、アメリカ、フランス、ニュージーランド、韓国、イタリア、オーストラリア、中国、マレーシア、スウェーデン、スイス、オーストリア、イギリスカナダ、ジャマイカ、コロンビア、バングラデシュ、日本

【事業実施状況説明】

この内容は、ユネスコNGO認定とかユネスコカテゴリーIIの取得に合わせて段階的に行うもので「世界から選ばれる都市“岡山”を目指して」の中で一部行っている。

第5項：会員と他分野の民間団体、並びに行政機関、国際機関、企業・経済団体、教育機関等との連携を促進する事業（継続）

①ユネスコ・パリ本部にNGO認証式参加（オンラインWeb会議開催）⇒延期

②岡山大学等教育委機関との連携⇒延期

COINNがユネスコ・パリ本部からユネスコNGO認証を取得後に岡山大学学長 槇野博史氏に面会し協議する。これまで一度、槇野学長には全般のことを伝え、岡山市長に同伴で面会してもよいと助言を頂いている。

事前に横井篤文副学長（特命（海外戦略）担当）に面会を行う予定。

③南アジア・東南アジアのユネスコ認証NGOとの連携事業

a) 特定の団体を選択し、事業内容を調査し、協働可能なものを選択する。⇒COINN基本構想で一部記載

b) 特定のユネスコ認証NGOとオンラインWeb会議を開催する。⇒延期

④岡山県等との協働事業提案

a) 国際貢献月間に向けた2021年10月資料の会員への広報実施（広報実施）

b) 国際活動団体働・ネットワーク・フォーラム

目的：「時代の変革に相応した組織づくり」

別紙-10：「国際活動団体・ネットワーク・フォーラム（案）」

（オンラインWeb会議）⇒延期

⑤一般財団法人岡山県国際交流協会（OPIEF）主催事業への参加（継続）

a) 令和3年度国際貢献NGOフェアへの出展への個別参加

別紙-11：2021年度国際貢献NGOフェア日程表

参加団体10団体

NPO法人岡山県国際団体協議会（COINN）、岡山県ユネスコ連絡協議会、岡山エスペラント会、認定NPO法人「ハート・オブ・ゴールド」、日本ボーイスカウト岡山連盟、NPO法人国際協力研究所・岡山（NPO ICOI）、NPO法人岡山日本語センター、世界女性会議岡山連絡会、岡山県国際課

実施時期：2022年1月13日～3月23日

b) 令和3年度国際理解学習プラン講師派遣事業への個別参加
関係者へ広報実施

c) 令和3年度国際理解・協力活動等助成金事業への個別参加
関係者へ広報実施

d) 令和3年度国際貢献・協力セミナーの共催の個別参加
関係者へ広報実施

e) 令和3年度COINN活動支援助成事業申請（10万円リソグラフ）

「特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会活動支援助成事業申請」
申請と実施⇒助成金10万円入金

- f) 令和3年度岡山国際交流センター防火対策協議会参加
日 時：2021年8月3日 14:00～15:00
場 所：岡山国際交流センター6階交流プラザ
参加者：岡山国際交流協会、岡山県国際課（パスポート）、NPO法人岡山県国際
団体協議会、岡山市市民保険年金課、防災センター、岡山県国際経済交流
協会（以上7団体）

⑥岡山NPOセンター関係事業

- a) 「SDGs ネットワークおかやま」会議に参加（会員）
年間5回
b) NPO法人岡山NPOセンター通常総会参加
（オンラインWeb会議）
日時：2021年12月
場所：岡山NPOセンター会議室（岡山県岡山市北区表町一丁目4番64号）

⑦助成財団への申請

- a) 申請組織立上げ（申請作成の報償制度、COINN 内部コンサルタント制度）（継続）
b) 検討先（継続）
申請内容例-1：日本政府（外務省、文部科学省）継続
CLCを拠点とした地域住民（青年）主体の「人・組織・地域」づくりと「ライフ・システム支援プログラム」の構築（※CLC=Community Learning Center）
別紙-12：令和3（2021）年度 ユネスコ未来共創プラットフォーム事業「海外展開を行う草の根のユネスコ活動（再委託）」企画書（文部科学省助成申請） ⇒不採択
申請内容例-2：2020年度の異文化理解事業の結果を踏まえ、その内容を継続していくために岡山県・岡山市・橋本財団（岡山県内の財団）トヨタ財団等に申請する。
期限：2021年10月30日（これは2022年3月末に橋本財団に採択された）
別紙-13-1：2022年度COINN研究実施計画書（橋本財団） ⇒採択
別紙-13-2：2022年度調査スジュール（橋本財団） ⇒採択
c) 外務省インターンシップへの申請（継続）
d) 「世界の人のためのJICA基金」への申請（継続）
CLC（コミュニティー・学習・センター：日本の公民館に相当）の「人づくり」「組織づくり」「地域づくり」の一事業提案（上記bの申請内容例と同じ）

⑧ESD学会への加入と事業への参加（継続）

総会と事業に参加

第6項：研修・講演会等の開催事業

- ①ファンドレイジングの方法研修（認定ファンドレイザー研修）
講師：日本ファンドレイジング協会 代表理事 鶴尾 雅隆 氏
日時（予定）：2021年9月15日（水） （オンラインWeb授業）⇒延期
②民間ハローワーク（外国人向け）設置の方法について⇒継続検討中
a) 岡山労働局 〒700-8611 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎

③MSCの概略・目的・特徴・事例紹介の講義⇒継続検討中

(注) MSC (モスト・シグニフィカント・チェンジ) は、欧米の NGO が使っている参加型・質的評価手法 (オンラインWeb授業)

- ・演習：「最も重大な変化を選ぶ」ステップの体験
- ・まとめと振り返り

・講師： 一般社団法人参加型評価センター代表理事 田中 博 氏

④NPOセンター開催の研修会への参加 継続

⑤外務省・JICA共同説明会への参加 継続

⑥岡山大学副学長 横井篤文 氏 講演への参加 継続

第7項：その他、協議会の目的達成のために必要な事業

①会員向けサービスの提供

a) 会議室の調整：交流プラザ（9：00～21：00）

県民、市民への利用促進、会員へ利用広報、

b) 会員私書箱のメールボックスの利用調整（郵便物配付含む）

c) 各団体の情報提供（COINNホームページ掲載）

d) 事務局の運営（会員入会登録管理事務、理事会、部会、総会、法務届出、受付文書受理業務）

②COINN活動収益事業の実施

a) 八塔寺国際交流ヴィラ、八塔寺山荘の受付事務

b) 再オープン国際交流ヴィラへの協力・調整

4. 管理運営業務

(1) 会議等の開催

①総会

年1回（2020年度は書面表決による総会）

別紙—14：COINN2021年度総会（メール書面表決）次第

②理事会開催（オンラインWeb会議の実施）

オンライン理事会3回

③COINN理事連絡会メール

④COINN会員交流会

(2) ヴィラ委託事務（八塔寺国際交流ヴィラ、八塔寺山荘：宿泊者の世界からの受付業務）

(3) 入会受付審査

(4) 会員登録事務

(5) 会員メール情報提供事務

(6) イベント実施結果の情報授受とホームページ掲載

(7) メールボックス設置とメールの配布（1階→6階）

(8) 会員管理事務（会員名簿作成事務）

(9) 会員間の情報伝達事務

(10) 関係機関通知文等処理

(懸案事項) 特に、岡山市からNPO法に基づく様式に従ってCOINNの定款を修正してもらいたい希望が出ている。さらに、過去の届け出事務が未了もあるので早急に行う。

(11) 岡山国際交流センター管理者への協力

①センター建物利用者連絡会議

②消防訓練

(12) アルバイトの採用（広報）

①ルイス 麻穂（岡山大学非常勤講師） ハローワーク

②片山佳代子（翻訳家） ハローワーク

③平松 心（岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム2年生） 岡山大学

(13) その他（起案・決裁）

第二号議案

収支計算書(総括表)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計				計
		OPIEF 委託事業	ユネスコ 誘致事業	国際交流 グワ 委託事業	世界から選 ばれる都 市”岡山” を目指して	
(収入の部)						
1 会費収入	118,130					118,130
前年度繰越	0					0
2 寄付金収入			2,600,000			2,600,000
3 助成金収入	200,451	100,000			3,000,000	3,300,451
4 委託金収入				87,415		87,415
前年度繰越						0
5 負担金収入						0
6 立替収入	182,000					182,000
7 戻し	10,849					10,849
8 受取利息	4				11	15
9 他会計より繰入	1,869,067	10,323	0	0	143,155	2,022,545
当期収入合計	2,380,501	110,323	2,600,000	87,415	3,143,166	8,321,405
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0
収入の部合計	2,380,501	110,323	2,600,000	87,415	3,143,166	8,321,405
(支出の部)						
1 事業費	0	110,323	393,300	504	3,143,166	3,647,293
2 管理費	1,403,851	0	0	0	0	1,403,851
3 備品費	75,650	0	0	0	0	75,650
4 その他	1,000	0	0	0	0	1,000
5 返還金	900,000	0	0	0	0	900,000
6 他会計へ繰出	0	0	2,206,700	86,911	0	2,293,611
当期支出合計	2,380,501	110,323	2,600,000	87,415	3,143,166	8,321,405
当期収支差額	0	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0

収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(1) 一般会計

(単位：円)

科 目	金	額	
I 収入の部			
総会成立過半数21名以上		118,130	
2021年度			
既存会員会費			
現金会員 5,000×3=15,000	15,000		
振込会員			
同時期振込 (5,000-55) × 4 団体	19,780		
別時期振込			
(10,000-110) × 2 団体	19,780		
(5,000-110) × 13 団体	63,570		
2. 寄付金収入		0	
寄付金収入	0		
3. 助成金		200,451	
人権 (岡山市)	200,451		
4. 立替収入 (借入金)		182,000	
立替収入 (借入金)	182,000		
5. 戻し		10,849	
利子戻し	10,849		
5. 受取利息		4	
受取利息	4		
6. 他会計より繰入		1,869,067	
他会計より繰入	1,869,067		
当期収入合計 (A)		2,380,501	
前期繰越収支差額	0	0	
収入合計 (B)			2,380,501
II 支出の部			
1. 事業費		0	
会員間連携協働事業	0		
国際活動推進事業	0		
情報収集提供事業	0		
情報交換発信支援事業	0		
関係機関連携事業	0		
研修事業	0		
2. 管理費		1,403,851	
事務所費	344,344		
会議費	32,923		
研修費	1,000		
旅費交通費	154,100		
人件費	515,967		
福利厚生費	12,098		
通信運搬費	188,344		
消耗品費	49,463		
新聞図書費	74,800		
租税公課	0		
諸会費	23,000		
雑費	7,812		
3. 備品費		75,650	
備品費	75,650		
4. その他		901,000	
借入返金	900,000		
その他 (通帳作成最初入金返金)	1,000		
5. 他会計へ繰出		0	
他会計へ繰出	0		
当期支出合計 (C)			2,380,501
当期収支差額 (A) - (C)			0
次期繰越収支差額 (B) - (C)			0

(2) 特別会計 (OPIEF 委託事業)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1. 委託金収入	100,000	100,000
2. 他会計より繰入	10,323	10,323
当期収入合計 (A)		110,323
前期繰越収支差額		0
収入合計 (B)		110,323
II 支出の部		
1. 事業費		110,323
消耗品費	21,975	
リース料	88,128	
修繕費	0	
備品	0	
振込手数料	220	
当期支出合計 (C)		110,323
当期収支差額 (A) - (C)		0
次期繰越収支差額 (B) - (C)		0

(3) 特別会計 (ユネスコ誘致)

(単位: 円)

科 目	金 額	
I 収入の部 (委託金)		
1. 寄付		2,600,000
個人から	2,600,000	
2. 他会計より繰入		
当期収入合計 (A)		2,600,000
前期繰越収支差額		
収入合計 (B)		2,600,000
II 支出の部		
1. 事業費		393,300
人件費	282,050	
データ作成費	11,000	
通訳・翻訳代	97,500	
振込手数料	2,750	
2. 他会計へ繰出	2,206,700	2,206,700
当期支出合計 (C)		2,600,000
当期収支差額 (A) - (C)		0
次期繰越収支差額 (B) - (C)		0

(4) 特別会計 (国際交流ヴィラ委託事業)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1. 委託金収入		87,415
(1) 白石ヴィラ(白石・島づくり委員会)		
年間基礎委託料	0	
受付手数料	0	
(2) 八塔寺ヴィラ(備前市役所)		
受付手数料	75,025	
(3) 八塔寺山荘(備前市役所)		
受付手数料(繰越)	12,390	
当期収入合計(A)		87,415
前期繰越収支差額		
収入合計(B)		87,415
II 支出の部		
1. 事業費		504
(1) 人件費		
報酬	0	
(2) 事務費		
通信運搬費	504	
近地交通費	0	
2. 他会計へ繰出	86,911	86,911
当期支出合計(C)		87,415
当期収支差額(A) — (C)		0
次期繰越収支差額(B) — (C)		0

(5)特別会計(橋本財団:「世界から選ばれる都市”岡山”を目指して」)

(単位:円)

	金 額		
I 収入の部			
1. 助成金収入		3,000,011	
橋本財団	3,000,000		
利息	11		
2. 他会計より繰入		143,155	
他会計より繰入	143,155		
当期収入合計 (A)		3,143,166	
前期繰越収支差額		0	
収入合計 (B)			3,143,166
II 支出の部			
1. 事業費		3,143,166	
備品費	14,300		
図書資料費	6,490		
臨時雇用費	2,676,036		
諸謝金	84,500		
旅費交通費	111,220		
広告宣伝費	33,300		
通信運搬費	8,316		
印刷製本費	141,585		
消耗品費	40,019		
雑費 (振込手数料 その他)	27,400		
2. 他会計へ繰出		0	
他会計へ繰出	0		
当期支出合計 (C)			3,143,166
当期収支差額 (A) - (C)			0
次期繰越収支差額 (B) - (C)			0

貸借対照表
2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0		
普通預金 中国銀行奉還町支店①	0		
普通預金 中国銀行奉還町支店②	0		
普通預金 中国銀行奉還町支店③	0		
普通預金 三井住友銀行	0		
普通預金 トマト銀行	0		
郵便振替 岡山伊福町郵便局	0		
未収入金	0		
流動資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金			
国際会議借入（個人）			
個人（2018年度からの残）			
620,000円	620,000		
流動負債合計		620,000	
負債合計			620,000
III 正味財産の部			
正味財産		-620,000	
正味財産合計			-620,000
負債および正味財産合計			0

財産目録
2022年3月31日現在

(単位:円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
普通預金 中国銀行奉還町支店①	0		
普通預金 中国銀行奉還町支店②	0		
普通預金 中国銀行奉還町支店③	0		
普通預金 三井住友銀行	0		
普通預金 トマト銀行	0		
郵便振替 岡山伊福町郵便局	0		
現金預金合計	0		
未収入金			
岡山市			
助成金	0		
倉敷市			
助成金	0		
未収入金合計	0		
流動資産合計		0	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金			
個人 (2018年度からの残)			
620,000円	620,000		
流動負債合計		620,000	
負債合計			620,000
正味財産			-620,000

前事業年度の役員名簿

(2021年(令和3)年4月1日から2022年(令和4年)年3月31日)

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会

No	役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬	備考
1	理事	青山 勲		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
2	理事	岡本 俊則		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
3	理事	谷本 基		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
4	理事	チフチ・アイ テキ		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
5	理事	片山 哲也		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
6	理事	坪井喜久太		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
7	理事	小林 勉		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
8	理事	有竹 正寿		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
9	理事	長木 愛		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
10	理事	近藤 英生		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
11	理事	橋本 徹決		2021年4月1日～2022年3月31日	無し	
1	監事	玄古 真祥	2021年4月1日～2022年3月31日	無し		
2	監事	桔梗 博充	2021年4月1日～2022年3月31日	無し		